

ワーキンググループの設置について

第5回の委員会にて、

- ccTLD/gTLDの運営は、民間主導で運営されるべき、運営の方向をマルチステークホルダーで決めるべきという意見が多数あったこと、
- それらの担保については様々な意見があったこと、
- 地名の新gTLDについてはccTLDとは異なる要求条件がある可能性があるとの意見があった。
- 議論すべき点が概ねそろってきていること

等を考慮し、ccTLDや地名等に関するgTLDについて、

- マルチステークホルダーでの議論のあり方や
- マルチステークホルダーで議論された内容のレジストリによるTLDの運営ポリシーへの反映のあり方

等について、その方向性と報告書の骨子を少人数で深く議論するため、委員会主査により作業班が設置された。

ワーキンググループでの検討事項

• ccTLD に関し、下記の議論を行う。

① マルチステークホルダーの仕組み

(例)

- マルチステークホルダーの会合には、誰が、どのようにして入るのか。
- マルチステークホルダーとして多くの人が参加し議論する場と少人数で決める場の2段階が必要か。
- マルチステークホルダーの会合の事務局はどの組織、もしくは、どのような組織が勤めるべきか。
- 既存の枠組の活用は可能か。

等

② マルチステークホルダーで議論すべき事項

(例)

- ccTLD のレジストリが保つべき信頼性の内容
- ccTLD のレジストリが公開すべき内容

等

③ 上記のマルチステークホルダーで議論・決定された事項は何に反映されるのか。

(例)

- ccTLD の運営ポリシー

等

④ 上記事項の担保の在り方

(例)

- 宣言、政府との契約、法律

等

• 地名等の新gTLDに関し、下記の議論を行う。

(例)

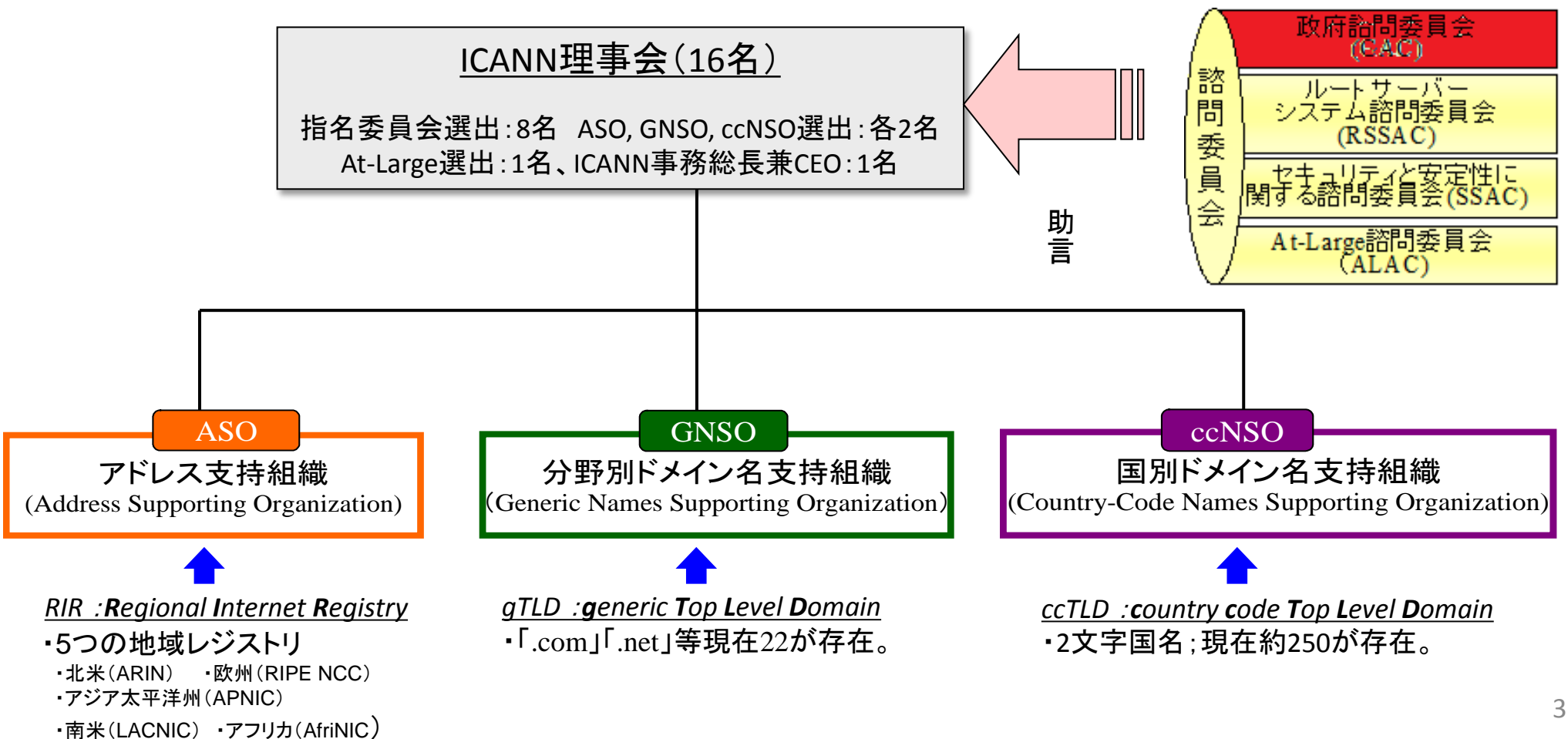
- 上記のccTLDに関して挙げた論点は新gTLDの場合どのようなようになるか。
- 新gTLDのブランド・信頼性をどのようにすべきか。
- 新gTLDに求められる透明性をどのようにすべきか。
- 自治体よりも大きな地理的経済圏・生活圏に関するドメイン名が出た場合を想定して議論しておくべきか。
- レジストリがその地域と連携して地名に係る新gTLDを運営することが基本となるか。
- 地方自治体への情報提供など国の役割があるか。
- ccTLD との公正な協調と競争環境を維持するためにはどのような課題があるのか。

等

(参考) ICANNにおけるマルチステークホルダー

ICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)

- カリフォルニア州非営利公益法人法に基づく非営利公益法人。
- 米国のインターネット資源管理の民営化方針に基づき、1998年10月設立。



(参考) 米国・商務省国家電気通信情報庁の報道発表とICANNの動き

米国・商務省国家電気通信情報庁(以下、NTIA)発表 (2014年3月14日) 概要

インターネットの政策策定及びガバナンスのマルチステークホルダー・モデルを支持し、強化するため、**NTIAは、重要なインターネットのドメイン名機能をグローバルなマルチステークホルダー・コミュニティに移転する意向を表明する。**最初のステップとして、NTIAは、インターネットのDNSの調整においてNTIAが担っている**現在の役割(*)**を移転する提案を進展させるため、ICANNがグローバルなステークホルダーを招集することを求める。

移行提案は**幅広いコミュニティの支持及び以下に掲げる4つの原則**を満たさなければならない。

- ・マルチステークホルダー・モデルを支持し、強化すること。
- ・DNSのセキュリティ、安定性及び弾力性を維持すること。
- ・グローバルな消費者及びIANAサービスのパートナーのニーズと期待に応えること。
- ・インターネットの開放性を維持すること。

NTIAは、NTIAの役割を政府主導又は政府間の組織で代替するという提案は受け入れない。

(※)ルートゾーンファイルへの変更を管理する手続き上の役割 等

IANA機能のNTIA管理の移転プロセスに関するICANN発表 (2014年4月8日) 概要

ICANNは、NTIA管理移転プロセスの原則及び手法とともに、当該プロセスがオープンで、透明で、包括的で、説明可能であることを管理するための**ステアリンググループ**を組織することを発表。意見募集中(5月8日まで)。

原則

- ・包括的
- ・透明
- ・グローバル
- ・説明可能であること
- ・マルチステークホルダー
- ・焦点を絞る
- ・实际的で、根拠に基づく
- ・オープン
- ・害さない
- ・コンセンサスベース

手法

- ・ウェブに基づくプラットフォーム
- ・ワーキンググループの手法を利用する
- ・対話を組織する
- ・既存の情報及びプロセスを活用する
- ・ストレステストを実施する
- ・明確で目に見えるタイムラインを設定する
- ・他のフォーラムでの議論を認識する
- ・幅広くアクセス可能なプラットフォーム
- ・複数言語のサポート
- ・複数のコメントのフォーラム

【ステアリンググループ構成】

- ・ICANNの支援組織及び諮問委員会(*)から各2名の代表者、IETF、IAB、ISOC、NROから各2名の代表者で構成。
- ・多様性・地域バランスを保証し、ICANNの利害相反を考慮。

【役割】

- ・ステアリンググループの役割は、プロセスの進捗の調整・保証。
- ・NTIAに提出するステアリンググループの最終提案は、ICANN及び当事者によってレビューされる。

(※)アドレス支持組織(ASO)、分野別ドメイン名支持組織(GNSO)、国別ドメイン名支持組織(ccNSO)、At-Large諮問委員会(ALAC)、ルートサーバ・システム諮問委員会(RSAC)、セキュリティと安定性諮問委員会(SSAC)、政府諮問委員会(GAC)の7組織から各2名。